

SDGs for School  
produced by Think the Earth

19

「エス・デー・シエス・フォー・スクール」  
SDGs for School X  
曹洞禅サマリーイベント  
開催報告

イベントの目的は、  
・SDGsの本質を参加者と一緒に考える機会とする  
・身近な事例を題材に自分たち一人ひとりの行動から社会変容を目指す機会とする  
・読者のみなさんから「エス・スクール」の連載に期待することや、書いて欲しい記事について直接伺う機会とする  
何度も編集メンバーで話し合いを続け、この3つの目標を達成するために、以下のスケジュールで実

① 13:00 ~ 開会  
今回のイベントの趣旨説明と、編集メンバーがどうしてSDGsアクションを起こすようになったのかを話しました！ 学校が始まっていたメンバーは、ビデオレターでメッセージを届けました。新潟に住む編集メンバーも、当日は東京会場にきて、企画運営を行いました。

② 13:30 ~ 基調講演(山藤旅間先生)  
山藤先生に、私たちの活動目標である「SDGsの本質」という

◆日時: 2022年8月24日(水)  
13:00 ~ 17:00  
◆場所: 東京グランドホテル

③ 13:50 ~ SDGsアクション紹介  
編集メンバーの二人にSDGsアクションの例について話してもらいました！  
大学生メンバーからは、地域と連携して、ゴミをゼロにするお祭りを企画する活動を紹介しました。高校生メンバーからは、オーガニックコットンで作られ、フェアトレードされたTシャツを生産地から直接購入できるしくみを作ったことを紹介しました。

◆ 施しました。

テーマで講演していただきました！ 自分たちの行動は、対症療法なのか、それとも根本治療に向かっているのか、を考える重要性を伝えてくれました。





#### ④ 14・15 くオーガニックコットン

のお話

Made in Earthの前田剛様からオーガニックコットンの魅力と課題についてのお話しをいただきました。コットンから食用の油も採取しているので、農業問題は生産者への健康被害や、現地の生態系に甚大な影響を与えるだけでなく、消費者にも直接関わってくる問題であるという発見がありました。

#### ⑤ 14・40 く布ナプキンのお話

アフリカに実際に行って布ナプキンを届ける活動をしているShihoさんにお話していただきました!

Shihoさんが実際に現地に行って活動しているからこそ感じ

ている問題についての話を聞きました。生理のはじまった女子学生たちが学校に通い続けるために、布ナプキンを現地に送ったり、作り方を伝えることは、有効な解決手段の1つですが、水のインフラが整っていない地域や、宗教上の問題でナプキンを洗濯して干すことができない地域では、解決にならないことを学びました。

#### ⑥ 14・50 くワークシヨップ

布ナプキン製作では、時間が足りず完成まで行った人は少なかつたのですが、大きな失敗もなくお互いに教えあひながら製作しました。

何枚も布を重ね合わせるの、その向きや、合わせて縫うことが



#### ⑦ 15・50 く交流会

難しかったですが、参加者からは「楽しかった」「家に帰ってからも作ってきたい」という声をたくさんいただきました。つくった布ナプキンはアフリカへ届けます。

交流会は、私たちメンバーが一

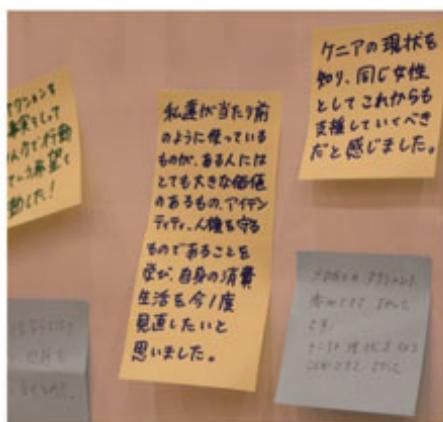




番大切にしたいと思っていた時間です。スムーズな進行を考えた、オンライン参加者のグループと会場のグループにそれぞれ別れて行いました。会場では、SDGsの番号のカードが一人1枚配られて、それを言い換えて説明しながら自分のカードと同じ番号の人を探するというゲームをしました。言い換えることで、その番号について考えるきっかけになり、その課題と向き合うきっかけになります。参加者のみなさんはとても活発にゲームを楽しんでくださいました。

そして、そのペアの人と一緒に「今日の感想」、「今後行いたいアクション」、「てらスクールで扱ってほしい話題」についてそれぞれ話しました。話し合ったことを付

箋にまとめたのが次の画像です。同じ女性として、ケニアの現状を初めて知り、これからも支援を続けていきたいという声や、自身の消費生活を見直していきたい、など、たくさん感想をいただきました。



禅とSDGsのお話の後、いす坐禅を体験しました。ゆっくりとした時間と空間を、みんなで味わいました。

最後にとても嬉しかったのは、参加者の中から、今回の布ナプキンワークショップを自分の所属するコミュニティでも実施したいという問い合わせを複数いただいたことです。行動が連鎖し、広がっていく実感を持つことができました。

次回は12月27日に開催される「みらいをつくる超・文化祭」に出展する予定です。冬休みも一緒に学び、行動し、一緒に未来をつくる話し合いをしませんか？

(みのり・高校2年生)

